

古文書（粕壁の地名を改める願）

古文書とは、昔から近世（明治初期）までの間に書かれた文書で、公用文書（年貢割付・年貢皆済・御用留・村明細・村掟等）個人文書（日記・帳簿・諸証文・仕切等）をいう。

市史編さんのためこれら古文書を解読している中に、粕壁の地名を春日部と改めたいと代官に申し出た書類がある。文面の一例はつぎのとおりです。

乍恐以書付奉願候^{※1}

武州埼玉郡粕壁宿役人百姓惣代共一同奉申上候当駅宿名之義古来ハ春日部と称来鎌倉

四代將軍家御治世地頭春日部甲斐守と在名を名乗東鑑（吾妻^{※2}鑑）にも所所名目も出有

之候人之古城ニ御座候（中略）

粕壁と文字相記し可申様度度申諭候得共小兒等迄も自然古名を相弁書覚候仕合故公私

共文字一樣相成混雜不仕様いたし度候間何卒格別の以御慈悲宿名を古来之通春日部と

相記候様奉願上候

右願之趣御聞済に成下置候はば宿内一内一同重重難有仕合奉存候

以上

嘉永二年十月

武州埼玉郡粕壁宿

百姓惣代 二人

組 頭 一人

年 寄 二人

問 屋 二人

名 主 八郎

竹垣三右衛門様

御役所

このほか添付書類に歴史資料が書かれている。

今から一二八年前にこのような運動がされた事実が判明した。

市史編さんには、まず資料の発見が必要であり、中世から近世・近現代の文書史料が春日部の歴史を解く重要な「カギ」となる。先人達が書き残してくれた文書が市内の旧家には保存されていると推測し、編さん室では、これら文書を所蔵されている家を探ねて史料として使用させていただく様お願いしている。幸い多数の方のご協力を得て約二万点近い古文書をお預りすることができました。今後も所蔵者のご理解とご協力をお願いしてまいります。

お預りした文書は整理し厳重に保管し、逐次専門家に依頼して内容を解読（古文書の文字は特殊な書体で難かしいので専門家に解読を依頼）研究して、市史に発表いたしますので期間も相当長期になりますが、古文書は各所蔵者の家宝でもありますので大切に保管してまいります。

古文書を所蔵されておられる方がありましたら、ぜひ編さん事業にご協力をお願いします。

初出「広報かすかべ 昭和五十二年十二月」かすかべの歴史余話

※1 この古文書は、『春日部市史 第三卷 近世資料編Ⅱ』三〇八ページに掲載。なお、市史とは表記が異なる部分がある。

※2 原文では女偏に妻の表記である。